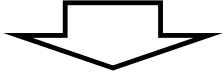


■審議テーマについての検討経過

資料

1. これまでのおさらい 「文化、伝統、歴史など、中原区の魅力発信と活力向上」「新旧住民の交流や多世代交流」について、検討のポイントとなりそうなもの(これまでに 出された意見(平成24年度報告書より))		2. 第5回区民会議で出された意見
緑の保全、ごみの抑制など自然環境または生活環境の向上		■メディアネットワークの活用 ・中原区は、メディア活用に積極的なので歴史や文化、伝統についてもメディアネットワークを活用してPRする。 ・歴史や文化、伝統の区の魅力をPRについては、わかりやすくするために動画を活用する。その動画については、インターネットで見られるようにする。 ■歴史や文化、伝統と併せて中原区の工業についてもPRする ・中原区は、富士通、NECなど大企業も立地しているが、等々力や宮内にある町工場などの中小企業の技術も優れていると聞いている。このため、中原区にある中小企業の技術も区の魅力と考えられる。 ■中原区の歴史や文化、伝統をを知る機会をつくる ・中原区に以前から住む人も中原区の歴史や文化、伝統を知らないことも多い。 ・中原区民も中原区の歴史・文化・伝統を知らないことが多いので、これらをまとめた冊子、写真集をつくったらどうか。 ■中原区の文化や伝統にふれあえる機会をつくる必要がある ・親子で中原区の歴史や文化、伝統にふれあうことができるイベントがあったら良い。歴史や文化、伝統にふれあうことにより、将来も中原区に住みたくなくとも思う。 ・中原区は、子どもの人口も増えている。このため、子どもたちが中原区の歴史や文化、伝統にふれあえる機会や仕組みが必要である。 ・中原区の歴史や文化、伝統を子ども達が触れ合うきっかけがあると良い。 ■住民同士の交流を深めるために中原区の歴史や文化、伝統を活用する ・新しく移り住んだ住民が中原区に溶け込んでもらうために、区の歴史や文化、伝統にふれるのは、良いことだと思う。 ・地域の関心を深めてもらえるようなきっかけ、住民同士の交流のためのきっかけとして地域の資源を活用する。 ・交流の機会としてお祭りなどの歴史や文化、伝統を活用する。 ・中原区に昔から住む人が語り部として新しい住民に伝えられるような仕組みがあったら良い。 ■昔から住む住民が新しい住民に区の魅力を伝える仕組みをつくる ・中原区には、新しい住民が増えているので地域の資源を知らないと思う。昔から住む人たちが新しい住民に中原区の文化や伝統を伝えられるような仕組みがあると良い。 ■市民活動団体等との連携 ・歴史や文化、伝統を通じた世代間交流を図るためには、地域方達や市民活動団体と連携して行う必要がある。 ・地域のお祭りの神輿担ぎに法政二高の生徒に参加してもらったことがある。お祭りが大変に盛り上がった。 ・文化協会では、月に1回伝統文化の無料体験会を開催している。今回のテーマで何か連携できるのではないかと。 ・区の魅力をPRするためには、行政だけで行うのではなく市民活動団体や企業等と連携しながらアイディアを出し合うことが重要だと思う。また、PRの取り組みは、単発ではなく持続できるような取組が必要である。
緑地の保全	緑地の保全、環境教育（小学校へ出前事業）	
	残り少なくなった緑地の保全活動と交流を図る。	
	緑の多い街、環境の向上	
ゴミの再生がどうなっているのか	ゴミの分別の啓発、分別後のゴミのリサイクル状況調査等	
	ゴミについて、現在の状況、再生がどのようになっているか、ゴミ分別の重大さを認識してもらう	
文化または観光の振興など、まちの魅力の発信		
古道中原街道の復活	古道中原街道の復活（現状のままで）金銭をかけずに保存の方法がなにかあるのでは。	
	区の文化・歴史の発展	
街道が区名になっているのは、中原区のみなので、区民のみなさまに知ってもらえれば。		
まちの活力向上		
個人商店・商店街を元気に	商店街と連携したまちづくり活性化	
	中原区の個人商店・商店街が元気になる企画	
地域の活性化	企業、商店、住民の交流の場	
区民会議委員の所属する団体を通し地域を活性化したい	所属する団体を通し、地域の活性化	
地域住民組織の活動、まちづくり活動などの市民自治の推進		
新旧住民の交流	新しく住まわれる方と従来から暮らす方とのコミュニティを重視した企画	
	昔から住んでいる人々と新しい人々の交流、又、お互いに地域を知っていただく	
	地域の活性化と交流（商店企業との協同、新旧住民の交流）	
交流コミュニティづくり	新住民と現住民との交流やコミュニティづくり	
	地域に住む方（旧住民）のコミュニティづくり	
その他		
区民会議のPR	あらゆる手段を通じて区民会議の認知度を上げる	
	区民の方々に区民会議の存在を一層知ってもらう	

運営部会の検討内容	
(1)区の魅力向上や発信のために課題になることやアイディア	(2)「テーマのタイトル」と検討の方向性について
■中原区の魅力の効果的なPRを行う ○中原区は、近年注目されているのでこれを活かす。 ・中原区は、武蔵小杉を中心に注目されているエリアである。区の魅力のPRもこれを活かす。 ・高層ビルの上層階を一般に開放できないか。 ○中原区をPRするアイテムの作成 ・中原区の魅力資源を表した「なかはらかるた」の作成 ・中原区の魅力資源を表した「音頭」の作成 ○子どもが来なくなるしくみ・魅力づくり ・井田山でカブトムシが採れることをPR ・子育てグループと連携して親子ウォーキングを企画する ・親子でも行事や祭礼に参加しやすくするため、小さいエリアでの行事や祭礼の情報がわかるようなくみをつくる。 ○メディアの活用 ・中原区のPRに有名人を活用する。 ・中原区の魅力を紹介する動画を作成し、いろいろなところで活用できるようにする。また、それを動画投稿サイトに投稿して、多くの人に見てもらえるようにする。 ○既存のイベントを活かす ・区民祭のステージで中原区の歴史文化の魅力を紹介する。 ・区民祭で中原区の歴史文化の魅力を紹介するブースやコーナーをつくり、スタンプラリーで回るようにする。 ・子育てカフェで中原区の歴史文化の魅力を紹介する。 ■中原区の魅力を活かして住民同士の交流を進める ○住民同士が交流する仕組みを検討する ・行事に参加者を受け入れる主催者側の意識と参加する側の意識を変える必要がある。 ・新しい住民が地域に入るステップ ・イベントを開催するにも目的が必要である。 ・イベントを開催すると近隣から苦情があることがある。 ・新しい住民も参加して行事等が盛り上がった成功例を示す。 ・新しい住民が町内会に入りやすいようにする。	中原区の魅力の効果的な発信と魅力を活用した地域住民の交流 副題 ～今ある中原区の魅力を伝えよう～  ＜検討の方針について＞ 中原区には、現在も歴史や文化等の魅力が多くある。しかし、これらは、区民も含めてあまり知られていないものも多い。このため、今ある中原区の魅力を広げ、伝える方法を検討する。また、歴史や文化の魅力を住民同士の交流や多世代交流等の地域コミュニティづくりに活用する方法を検討する。 ＜検討内容＞ ■現在ある中原区の魅力の効果的な発信 現在ある中原区の魅力を区内外に広く知ってもらうための効果的な方法を検討する。 ■魅力を活用した地域住民の交流 現在ある中原区の歴史や文化などを活用した新旧住民の交流方法について検討する。